

# ローカル×グローバル 高校生の新たな学び方

# Glacal

## Action News

令和5年度 Vol.1



カンボジアフィールドワーク  
現状を知るために実際に現地のスラム街や小学校などの教育機関を訪問しました

### 机上の空論を飛び越えた課題研究活動!

岡山学芸館高校の課題研究は現場で、実験室で、とにかくアクションしてみる!というのが醍醐味です。数々のゼミが学校を飛び出して課題研究活動を実施しています!



海洋教育ゼミ ウミナナ班  
ウミナナの接触走性を観察から見出し、フィールドでその特徴がどう表れるのか、検証実験を行いました

課題研究広報誌 令和5年度 Vol.1 2024年1月30日発行  
岡山学芸館高等学校課題研究運営部  
〒704-8502  
岡山市東区西大寺上1丁目19-19 ☎086-942-3864

ご覧ください!

岡山学芸館高等学校 課題研究Facebook  
<https://www.facebook.com/gakugeikansgh/>





自分自身の興味関心を探究し、将来の進路選択に活かす！  
グローバル課題研究の3年間の学び

岡山学芸館高校の課題研究では、「これからの地域社会を創造するグローバルリーダーシップの育成」を目的として授業が展開されています。高校1年生では確かな分析力と課題発見力、そして自身の興味関心について認知していき、高校2年生では行動力・実践力を発揮していきます。こうしてグローバルマインドを育み、高校3年生では自身の進路について内省し、将来に活かしていきます。



1年 研究手法の習得

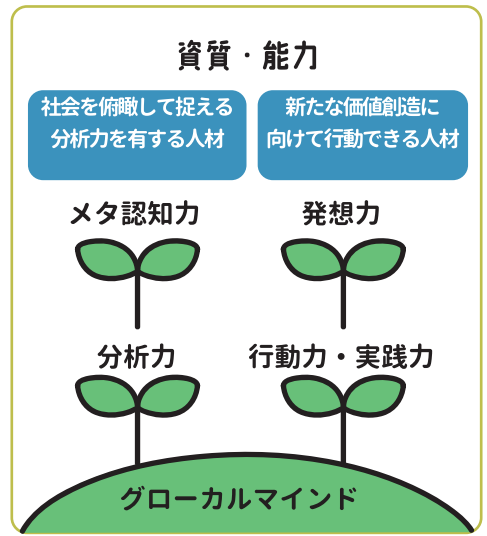
- ・自己探究
- ・探究スキルの取得
- ・課題の認識と発見

2年 課題研究活動

- ・テーマ別課題研究
- ・実践活動の必須化
- ・国内外フィールドワーク

3年 まとめと振り返り

- ・探究の振り返りと発信
- ・進路探究



地域の社会課題解決

岡山東備地区の課題

岡山市・瀬戸内市・備前市・赤磐市



- ・地方の国際化
- ・都市計画・まちづくり
- ・生物多様性
- ・都市交通
- ・人口減少
- ・環境負荷軽減など

岡山から世界へ



世界の社会課題解決

世界・グローバルな課題

カンボジア・フィンランド・インドネシア

- ・途上国教育問題
- ・環境汚染問題
- ・経済に関する問題
- ・保健医療問題
- ・女性と社会の問題



高校1年生の課題研究の特徴は、すべての科コースをシャッフルして課題研究の授業用のクラスを再編成することです。こうしてクラスや科コースの枠を飛び越えることで多様な価値観を共有し、協調性や協働性を育てていきます。授業では自主性と積極性に重きを置き、生徒自身の考えを伝えるアウトプット型の展開が主となります。課題研究を行う上で重要となる探究スキルの修得のため、正しいデータの入手法やその読み取り方、パワーポイントでのまとめ方などについても取り組みます。やがて自分自身が何に興味関心があるのかを突き詰める自己探究を行い、ゼミ選択に備えていきま

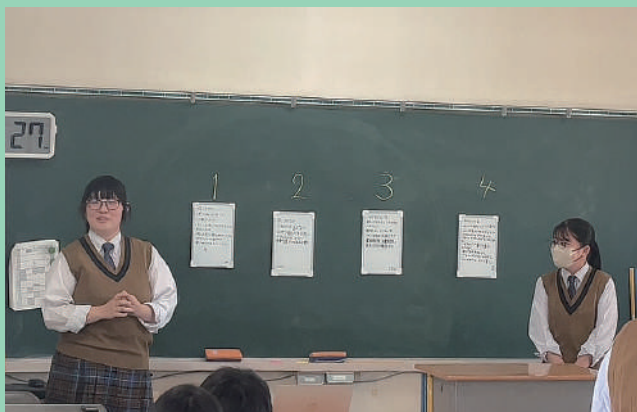
す。今年度は10月より、高校2年生が所属する21のゼミに各々の生徒が分属していきま



高校2年生では生徒は自身の興味関心と将来の進路選択に応じて、21ゼミの中から1つを選択して研究を進めます。各ゼミでは生徒がゼミ長を務めて生徒主体でゼミ運営をしていきま

す。学校外にも積極的に飛び出してフィールドワークやヒアリングを実施するなど、実践活動をしっかりと行い研究の質を高めていきます。年に数回ユニット内発表会を実施し、第三者の意見をもとに自身の研究をブラッシュアップしていきます。1月末には全校規模で学内発表会を行い、ここでの優秀な発表グループは2月にハレノワ(岡山芸術創造劇場)での発表の場が与えられます。こうした2年間の課題研究の学びを通して、自身の進路に向けて自信を持った選択ができるようになっていき、高校3年生からの進路探究に活かしていきます。

## 1 教育ユニット



- ①学習成果探究ゼミ
- ②養護・保健教育ゼミ
- ③小学校教育ゼミ
- ④幼児教育ゼミ
- ⑤芸術(デザイン・音楽)ゼミ

教育学に関する研究テーマ全般を扱っています。教職や人材育成に興味のある生徒を中心に、SDGs、幼児教育、健康、芸術などの研究を深めます。現場での実践活動も多く行っており、アクティブなユニットです。



## 2 地域協働ユニット



- ⑥地域活性化ゼミ
- ⑦地域観光ゼミ
- ⑧社会福祉システムデザインゼミ



地域社会との協働を通して、地域が抱える課題について発見し、研究を進めていくユニットです。社会学、観光学、まちづくり論、社会福祉論を扱い、特に地元である岡山市東区でできることを探究しています。机上の空論に留まらず、学校を飛び出して街並みを観察したり、老若男女の地域住民と交流したりするフィールドワーク重視のユニットとなっています。

グローバル1・2 // 深く探究するた

# 6 ユニット 22

## 3 国際ユニット



- ⑨多文化共生社会・多様性社会ゼミ
- ⑩国際関係と国際交流ゼミ
- ⑪国際協力とアフリカゼミ
- ⑫カンボジア探究ゼミ(1月より新設)

多様化が進む社会はまだ完全ではなく、様々な課題があります。異文化教育、多様化社会、国際関係論、途上国支援などをテーマに、現状を考察しつつ解決策を探究するユニットです。このユニットでの学びを通して、将来国際人として活躍する素地を身につけていきます。



## 留学中のEIGOKAゼミ



高校2年次の学びの場がカナダ、オーストラリアとなる英語科では、留学先でも探究を進めています。留学先と日本の比較研究、留学先から日本を再考するなど、研究を通してよりグローバルで多角的な視点が養われます。「オーストラリアの先住民族アボリジニと日本のアイヌ民族の比較研究」、「捕鯨の是非を問う」、「日本の英語教育の再考」、など多種多様なテーマで探究しています。



ための //

# 2

## ゼミ

高校1年後半から高校2年生の間、生徒たちは自身の興味に沿った分野のゼミを選び、課題発見や課題解決の道筋の付け方を学びます。研究内容は自分の一番興味のあること。今年度の研究テーマは152個にも上ります。ゼミ活動の成果は、国内外のコンテストで広く発信していきます。自分の学びを大学の研究に繋げ、高校生うちに深い探求心を育てます。

### 4 人文社会ユニット



⑬政治・経済政策ゼミ

⑮法律司法ゼミ

⑭言語コミュニケーションゼミ

⑯歴史ゼミ

人間の思想や歴史、生き方や人間行動、文化・文明、言語、法律、政治などを追求していくことで、社会全体の持続的発展に寄与していくユニットです。社会現象や人間の行動について探究していきます。



### 5 スポーツと健康ユニット



⑰スポーツ社会ゼミ

⑱医療看護ゼミ

スポーツ関連のあらゆる研究、医療看護に関するテーマを扱うユニットです。スポーツの持つ社会性から、まちづくりやコミュニティづくり、アスリートに求められる栄養学、看護学などをテーマに探究します。スポーツや健康を実践活動により深めていくユニットとなっています。



### 6 科学ユニット



⑲シミュレーション活用ゼミ

⑲物質科学ゼミ

⑳自然環境調査ゼミ

㉒海洋教育ゼミ

数学、物理学、生物学、化学で課題解決方法を探るユニットです。応用数学、情報工学、農学、生態学、化学などを仮説検証や実験を通じて深めていきます。未知を明らかにしていく、知的好奇心を呼び覚ますユニットとなっています(理系推奨)。





高校生である私たちに何ができるのかを考える

# カンボジア フィールドワーク



8月には高校2年生が、12月には高校1年生が希望者を対象に9日間のカンボジア研修に参加します。この研修では現地の人たちと協働して活動する機会が多く、多くの学びを得ることができます。これから発展をしていくカンボジアという国の現状を目にし、そこにある課題について深く考えていく研修プログラムとなっています。



## 生徒感想抜粋「フィールドワークでの気づきと学び」

ゴミ山で働いている人がいるという事を知り、自分の目で直接見てみたいと思いました。カンボジアを訪れ、スラム街の生活者、トンレサップ湖の水上生活者、ゴミ山で働く人々、NCCCの子供たちをみていくにつれて辛くなっていきました。今の自分にできることに限りがあることを痛感し、とても悔しかったです。でもカンボジアに行っていなかったら、現状を知ることもなかったのですごく貴重な経験になりました。

また私は、自分のゼミ活動も行いました。屋台で安価で食べ物を売っている人に、自分たちが考案したレシピを教えて、少し高価な値段で観光客に売るといったことです。これで彼らの生活が少しでも豊かになればいいと思いました。

研修を終えて、今の自分にできることは、必死に勉強して、正しい知識を備え、大学に行く事だと思いました。途上国支援や国際関係を学びたいと、はっきりと自分の気持ちがわかりました。そして、今後またカンボジアに行って、どんな形でもいいから彼らのために、何かを行いたいと思っています。



## 得られた経験を全国の高校と共有するカンボジア合同研修会

1月の上旬には1泊2日でカンボジア合同研修会が毎年実施されています。これは本校と同様、カンボジアなどへの開発途上国への海外研修がある高校が一同に会する研修会で、大学教員を招いて共通テーマについてじっくりと考え、議論を通じて学びを深めていきます。参加校は東京や和歌山、広島の高校など多岐にわたり、今回は東京で開催され、「貧しさの中における教育とは何か?」というテーマで考えを深めました。





外部講師から専門分野について深い学びを得る  
授業外での学び ～課題研究連続講座～

生徒自身の多岐にわたる興味関心に対応するため、放課後に「課題研究連続講座」を不定期で開講しています。連続講座では、実際に社会で活躍する外部の方を招いてワークショップ形式や講義形式で講義をさせていただいており、生徒は興味を惹かれた講座に自由に参加することができます。今年度は国際、金融、医療、経済などの分野から講座を開講しています。課題研究連続講座に参加することで自身の進路選択に活かします。その分野において気になっていたこと、もしくは講座を経て気になったことを直接講師に尋ねることができるので、ぜひ興味がある講座が開講される時には参加してみてください。



東京での  
三校課題研究交流会



7月に一泊二日で東京の私立高校3校(順天高等学校、郁文館グローバル高等学校、上野学園中学校・高等学校)と課題研究についてお互いに発表し、質疑応答をする学びの会を実施しています。完成された研究を披露するのではなく、研究の途中段階で交流を行うことで今後の研究の方向性や課題点など、多くの点で気づきを得られます。初日の発表で得られた課題についてはその日の夜にブラッシュアップし、翌日の交流会に活かします。

兵庫県立御影高等学校との  
課題研究交流会



7月28日には高校1・2年生約80名が兵庫県立御影高等学校にお邪魔して課題研究交流会を実施しました。同校との交流は今年で3年目となります。夏の交流では東京での交流と同じように、研究の途中段階で披露することで研究の方向性について気づきを得ることになります。年明けの3月には本校にて冬の課題研究交流会が実施される予定です。こちらは企画・運営に至るまで両校の代表生徒が担当します。

